

島内学生ワークショップについて

■島内学生ワークショップの目的

- ▶ 小豆島の未来を担う若者の意見や想いを本計画に反映することを目的に島内学生ワークショップを実施します。
- ▶ ワークショップをきっかけとして、若者との継続的な意見交換の場の土台作りを目指します。
- ▶ ワークショップでの意見は、島内の若者が考える課題・ニーズとして受け止め、小豆島ふるさと村全体整備基本計画の整備基本方針の導入機能の検討や地域連携イメージ等に反映することを想定しています。

■実施概要（案）

項目	内容（案）
名称	「(仮称)ふるさと村ミライサロン」
開催日時	①令和5年11月6日（月）15：40～16：30（50分） ②令和5年11月8日（水）16：40～17：30（50分） ③令和5年11月10日（金）15：40～16：30（50分）
開催場所	①6日（月）：WEB、②8日（水）、③10日（金）：小豆島中央高校教室
開催方式	グループワーク形式（グラフィックレコーディングにて記録）
参加者	「しまのみらいプロジェクト」を実施している香川県立小豆島中央高等学校の生徒約20名（想定）
テーブル ファシリテーション	香川大学 学生：4名（予定）
実施内容	<p>< 1日目（WEB） >：町の想い、ふるさと村の現状・抱えている課題等の情報提供（インプット）</p> <p>< 2日目（対面） >： アイスブレイク：自己紹介、ワークルールの共有、参加者のふるさと村での体験や思い出など グループワーク：ふるさと村を中心として「あったら良いもの」「できたら良いこと」など</p> <p>< 3日目（対面） >：グループごとの発表、グラフィックレコーディングでの振り返り</p> <p>< 実施後 >：アンケートの実施、広報等にて結果発信</p>
議論の ポイント ゴール	<p>◆ 議論テーマは、ふるさと村の現状や、町全体、島全体の課題等を踏まえ、ふるさと村を中心として「あったら良いもの」や「できたら良いこと」を学生視点で考えていただく。 →導入機能や地域連携イメージとして</p> <p>◆ 小豆島町に住み続けたい、ここで働きたいと思える場所になるには、どんな場所になりどんな事が必要かなど、自分事として捉え、様々なアイデアを出し合う。 →継続的な議論の場を設けられるような土台作りへ</p>